

キャンパスライフサポートに 求められるもの —臨床心理士の立場から—（第1報）

○山倉辰裕¹⁾ 岡田淳子¹⁾ 薄木佳苗¹⁾
村松公美子²⁾ 熊谷綾子³⁾

- 1) 新潟青陵大学キャンパスライフサポート室
- 2) 新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科
- 3) 新潟青陵大学健康管理センター

I 目的

【開室の背景】

- ◆平成21年度文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム(学生支援GP)に、「新潟青陵トリプルサポートプログラム」が採択。
⇒その一貫として、専任臨床心理士が配属された“キャンパスライフサポート室”を設置。(次項参照)
- ◆学生にとってより気軽に訪れることの出来る相談窓口が求められていた。

【運営と取り組み】

- 専任カウンセラー3名、週5日開室
- 相談予約は必要なく、いつでも相談可能
- 出張相談“出張サポート室”の開催
- グループワーク“キャンパスカフェ”の開催

新潟青陵トリプルサポートプログラム

平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」
学生支援推進プログラム（学生支援GP）

キャリアサポート

【大学・短大就職課】

◎専門の就職相談員による支援



スキルアップサポート

【大学・短大就職課】

◎資格取得講座等の開催

キャンパスライフサポート

【キャンパスライフサポート室】

◎臨床心理士による学生生活支援

【利用状況】

平成21年10月5日～平成22年6月30日（開室日数125日）利用者数40名

相談内容 延べ 件数	人間 関係	自己	進路	学業	体調	その他	総件数
	6件	31件	1件	7件	2件	17件	64件

Ⅱ 方法

調査方法

- サポート室に関する質問票調査を、2010年1月～4月の期間で実施。
- 2010年2月に開催した“出張サポート室”において個別に実施。
- 調査の趣旨を口頭で説明し、同意が得られた学生に無記名方式で実施し回収。（回収率95%）

調査対象

新潟青陵大学看護福祉心理学部及び、短期大学部の学生567名（男子54名、女子494名）

Ⅲ 結果

【結果①】 サポート室の認知度について

□ サポート室を知っているか n=567()内は%

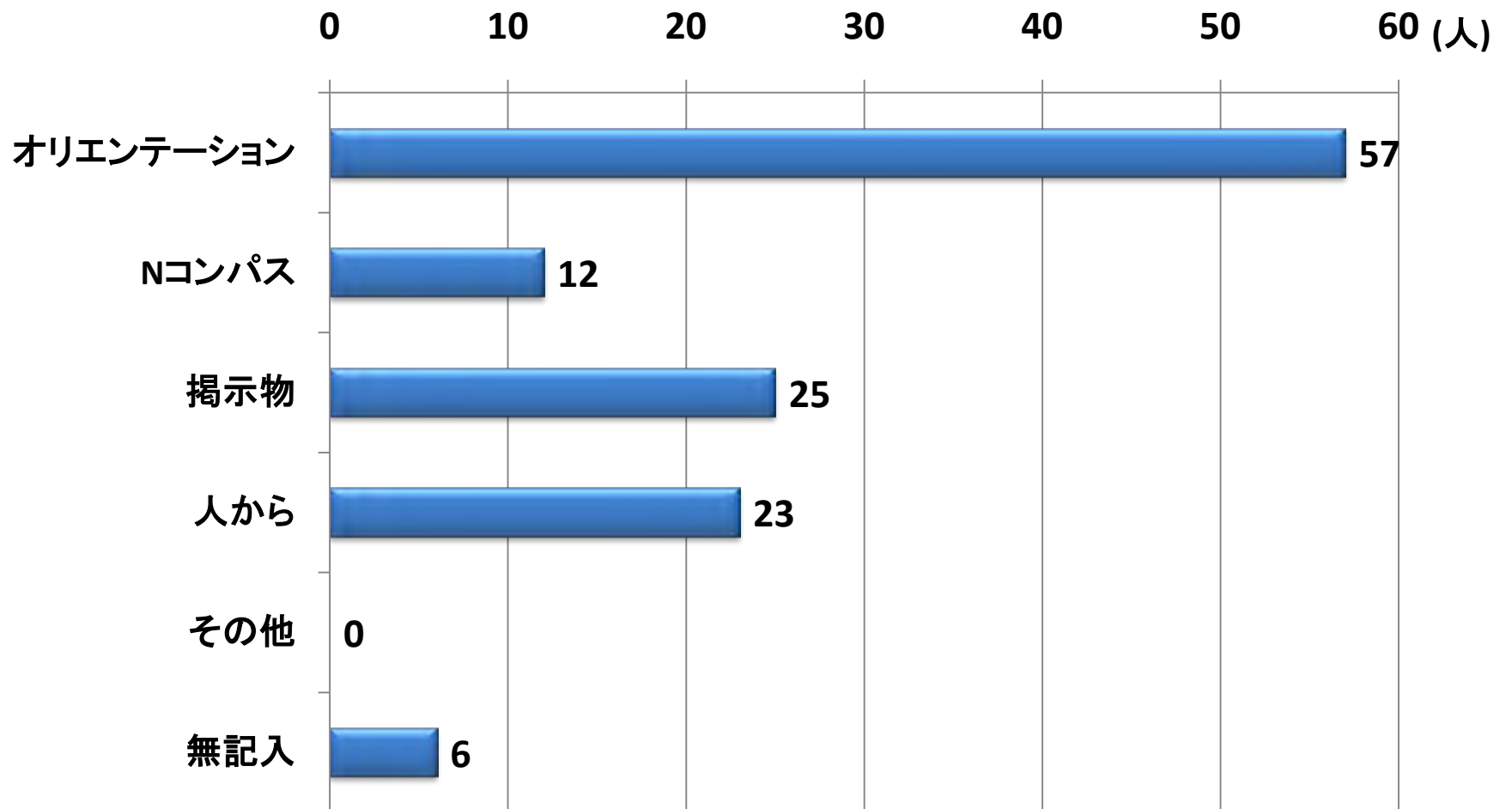
はい	いいえ	無記入
118(21)	441(78)	8(1)

□ サポート室の場所を知っているか n=118()内は%

はい	いいえ	中間	無記入
32(27)	82(69)	1(1)	3(3)

⇒ 相談室の場所まで知っている学生は2割程度
⇒ 認知度はまだまだ低い

□ サポート室をどのようにして知ったか



⇒オリエンテーションによる宣伝活動は有用
⇒N-COMPASSや掲示物も十分ではないが機能

【結果②】 サポート室の利用について

□ 現在までに利用したことがあるか n=118 ()内は%

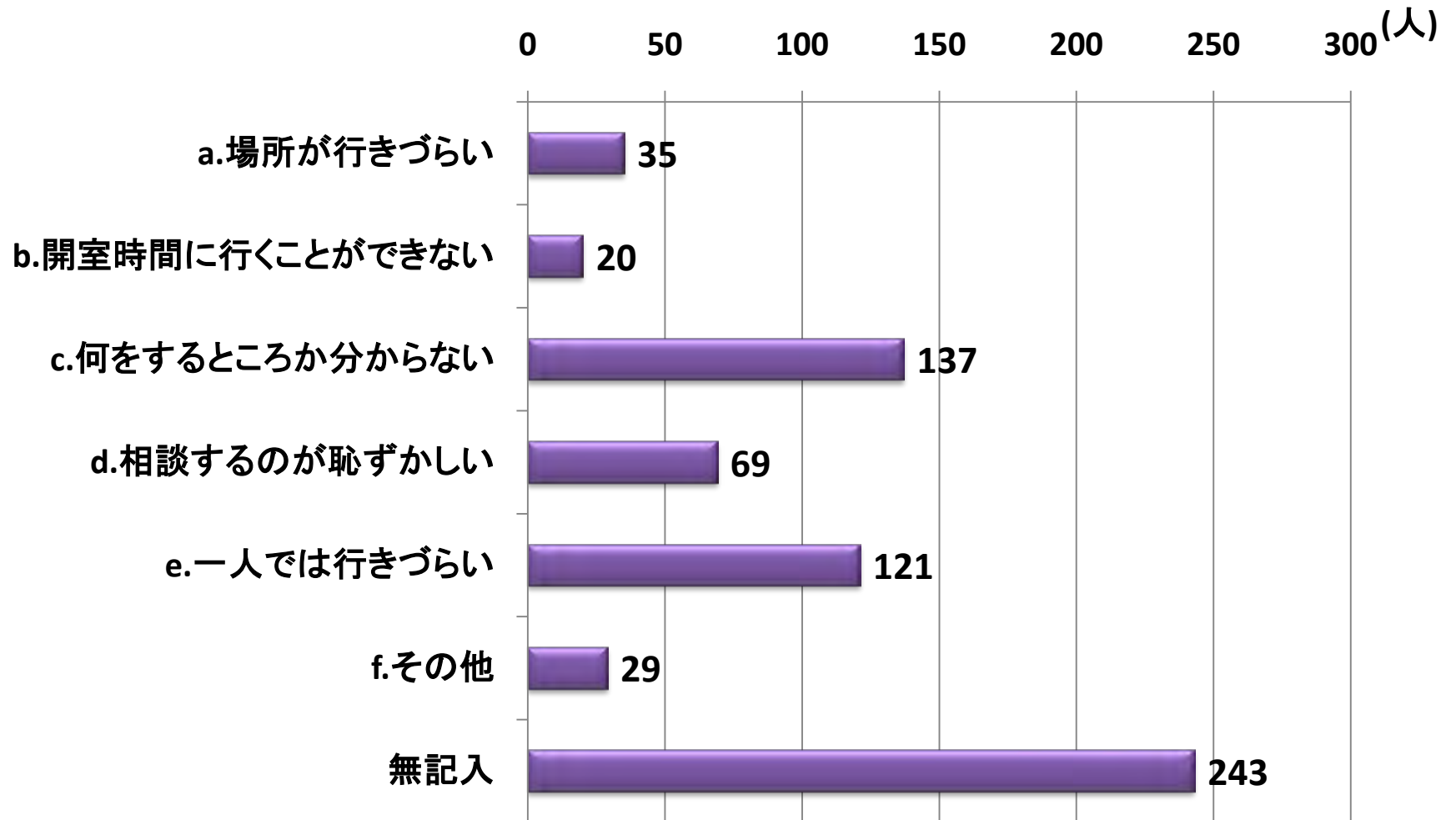
はい	いいえ	無記入
3(2)	112(95)	3(3)

□ 今後利用したいと思うか n=567 ()内は%

はい	いいえ	中間	無記入
287(51)	251(44)	9(2)	20(3)

⇒利用したことのある学生はほぼいない
⇒利用してみたいと考える学生は半数以上

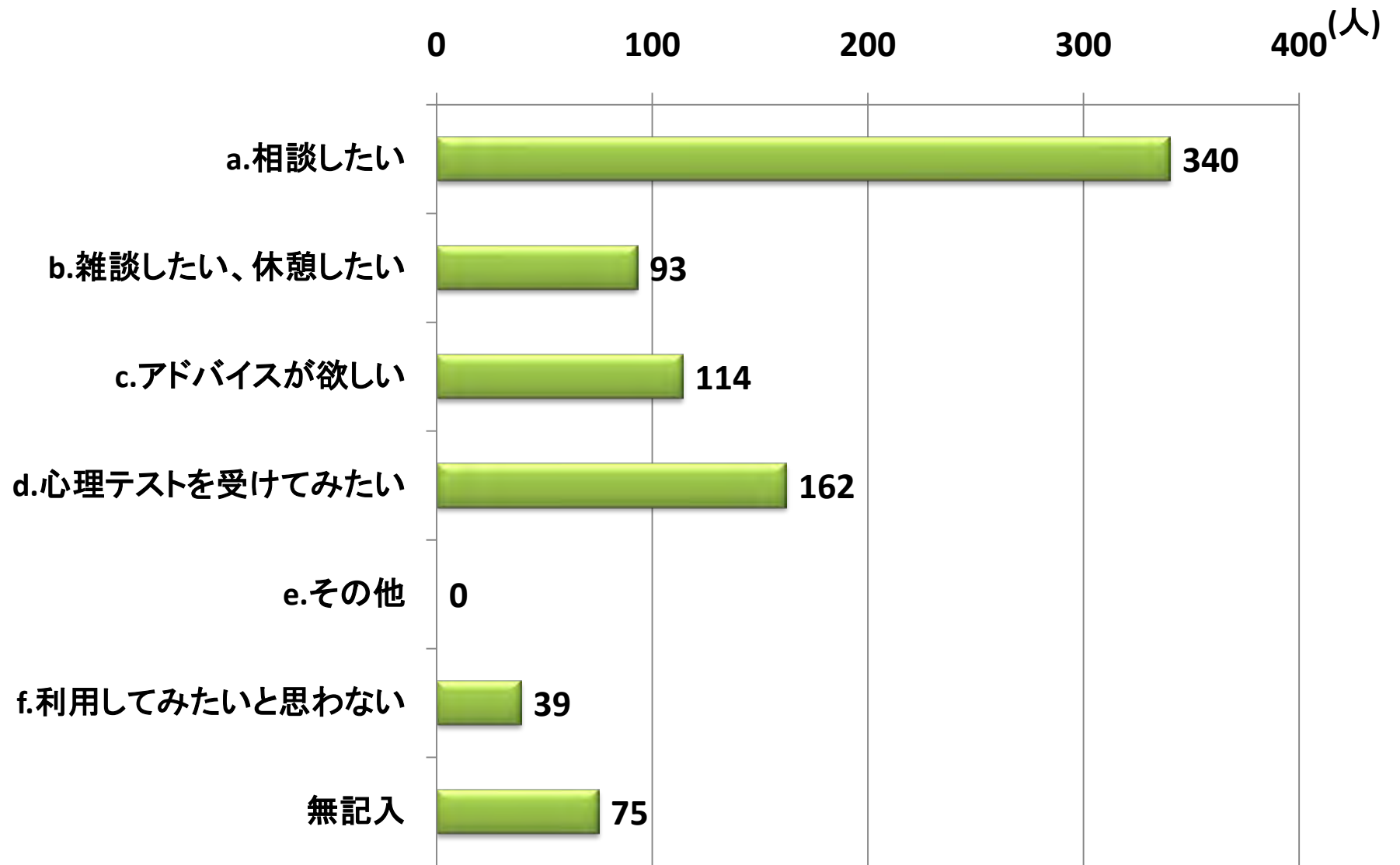
□ 利用できない・しにくいと感じる点（複数回答可）



⇒ サポート室の機能や目的に認知されていないことが
利用のしにくさと関連

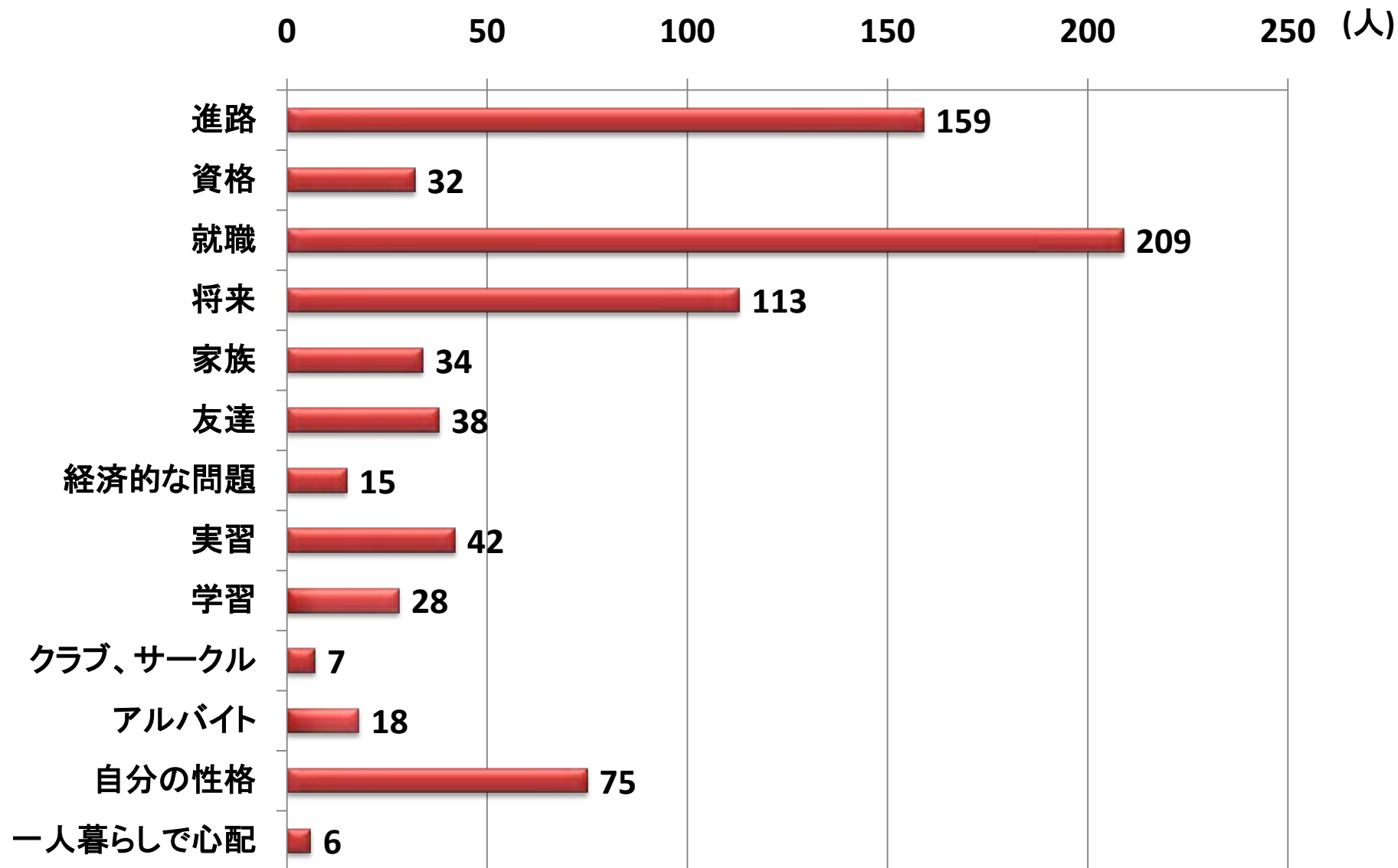
⇒ 個人の来談に抵抗や恥ずかしさを感じる学生も存在

□ どのような目的で利用したいか（複数回答可）



⇒ 相談したい学生が多く存在
⇒ 相談支援に対するニーズは高い

□ どのようなことを相談したいか（複数回答可）



⇒進路・就職・将来を選択した学生が多い
⇒卒業後の相談支援に対するニーズが高い

【結果③】 グループワークについて

□ 交流の場に参加したいかどうか n=567()内は%

はい	いいえ	中間	無記入
237(42)	281(50)	7(1)	42(7)

□ 参加してみたいと思う内容（自由記述）

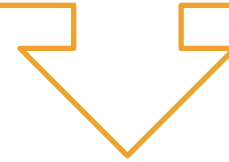
...お茶会、ケーキ作り、お菓子作りetc.

⇒他学部・他学年の学生との交流を求めている学生は多く存在。

IV 考察

【考察①】 気軽な相談窓口として

- 相談支援に対するニーズは高い
- 相談に対して抵抗感を持つ学生も多く存在

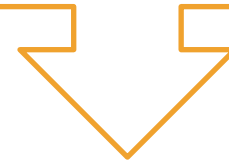


学生が気軽に相談できる、なんでも相談窓口としての機能が求められている。

- 学内支援体制におけるコーディネーターとしての機能
- 臨床心理学的な見立てを持ちながら学生に関わる必要がある

【考察②】 キャリア発達支援の機能

- 相談したい内容は進路や就職に関する項目が多数
- 将来に対する不安を抱いている学生が多く存在



どのようにして今後の進路を決定していくか、キャリアサポートに力を注ぐ必要がある。

- 就職課との連携
- 職業適性や興味に関する検査の実施

【考察③】 グループワークの開催

単独来室のしづらさ



他の学生と交流したいというニーズ



来室に対する敷居を低くし、学生同士の交流促進を図る手段としてグループワークを開催。

↳ 相談への導入

↳ 学生交流促進と自己理解へのサポート

【考察④】独自のモデルの模索

「従来型学生相談」

…支援の内容や対象が「医療モデル」の枠組みに限定。国公立大学の「保健管理センター」が代表的なモデル像。

「青陵キャンパスライフサポートモデル」

…「非言語的次元の関係性への働きかけ」までも含む「包括的な臨床心理学的視点」の基本理念に立った機能的かつ柔軟な「プラットフォーム型モデル」。

学内支援体制の全体像

アドバイザー & 学科教員

学習に関する相談
学生生活に関する相談
キャリアプランに関する相談
あらゆる相談の窓口として

教務課(学修サポートデスク)

卒業のための履修相談
資格取得のための履修相談
開講状況などに関する情報伝達
履修・試験に関する手続き
試験に関する手続き

教育等環境整備委員会

セクシャル・ハラスメント、
ストーカー行為等に関する相談

学生相談

心の悩み相談
各専門領域からの多彩なスタッフ

学生生活支援



学習支援

キャリアプラン ニング支援

就職課

進路に関する相談
求人の紹介
各種対策講座
適性検査
公務員模試
アルバイトの紹介

健康管理センター

健康診断
健康に関する相談
応急処置
看護師が常駐

キャンパスライフサポート室

何でも相談窓口
キャリア発達支援、交流の場
臨床心理士が相談対応

学生課

学生生活に関する相談
学生生活に関する手続き
各種奨学金手続き
奨学融資制度手続

国際コミュニケーションセンター (ICC)

学内LANでネットワーク
電子メール
インターネット
N-COMPASS

学友会

クラブ活動
大学祭
各種イベント

図書館

豊富な蔵書・映像資料
新聞・雑誌で最新情報
学内・学外オンラインで検索

実習指導室(保育・福祉系)

実習に関する手続き・指導
実習に関するさまざまな相談
国家試験対策講座

エクステンションセンター

公開講座
地域交流・ボランティア